

信州栄村秋山郷 切明道路端ボルダー

令和6年9月24日 RCT/K

この夏は酷暑が続き、何処か近くのボルダーで涼しい処はないかと思案した結果、ある程度標高のあるところということで、秋山郷の「ドロノキ平ボルダー」の未トライエリアが思いつく。早朝出発し現地に着いてみると、思った以上に夏草が生い茂って、これではアプローチ整備から始めるのは大変と思ひ日和って、以前和山から切明への通りがかりに見た道路端のボルダーに変更する。

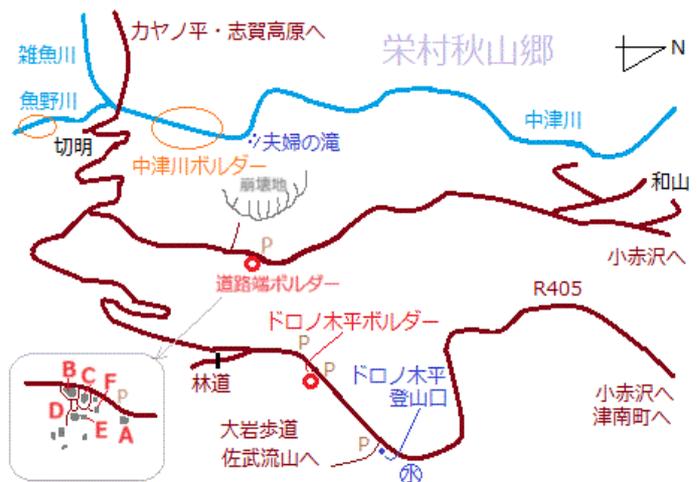
このボルダーは道路のすぐ横にあるのだが、どんなボルダーなのか確認はしていなかったため早速辺りを探ってみると、予想以上に数が多く、樹林帯の奥まで大小さまざまなボルダーが転がっている。しかしやはり苔落としと藪払いは必要なため、初日は道路近くの岩のみ簡単に整備をして帰宅する。

その後いろいろと用事で忙しく、体調を崩したこともあり漸く9月に入って掃除を兼ねトライに何回か出かける。今回は十分なトライができたとは言えず道路沿いのボルダーだけ終わってしまったが、残った課題もあり、また機会があったら奥のボルダーも含めてトライしてみたい。

ボルダーは、岩質は安山岩系統、高さ2mから4m弱でスラブからハングまで変化に富んでいる。浮石は大分落ちたので少ないが、下地は岩や根っ子が飛び出ているところがあるのであまり良いとは言えずクラッシュパッド持参が良い。

シーズンは、雪の消える初夏から秋の5月から10月頃までで、冬季は日本有数の豪雪地帯なので利用不可能である。エリア全体がゴーロ状で風が吹き抜けるのか夏でも意外と快適である。

アクセスは、長野県栄村の秋山郷切明を目指して行く。場所は和山から切明に抜ける近道(国道ではなく県道または村道?)の道路沿いで、道路横に岩があるのですぐに分かる。駐車はボルダーと反対側の路肩に数台可能であるが夏は虎杖が茂るので鎌持参が良い。



《課題紹介》

●A岩 (トポ上:西側 下左:南東側 下右:北東側)

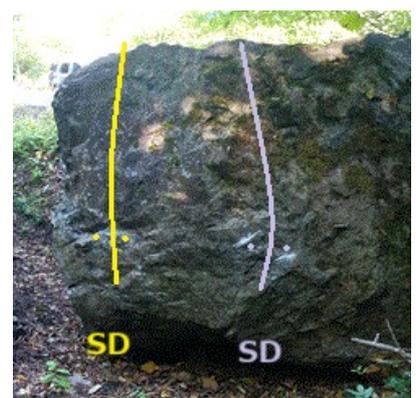
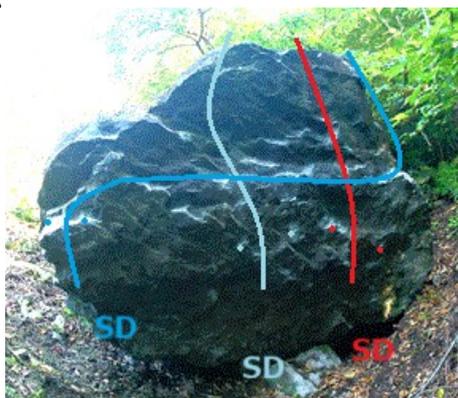
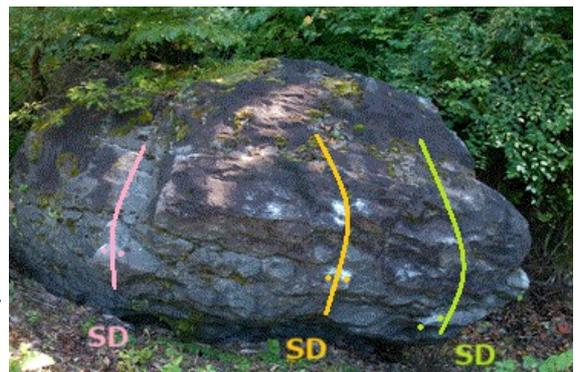
西側の3本は高さはなく、ガバスタートで易しく、斜面に寝た状態でスタートする。

南東側の水色と赤ラインは、掛かりの良いスタートホールドが欠けてしまい小カチホールドからのスタートになった。

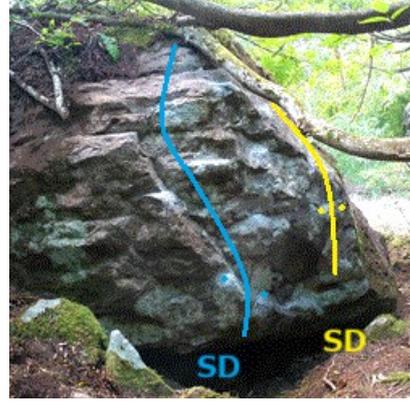
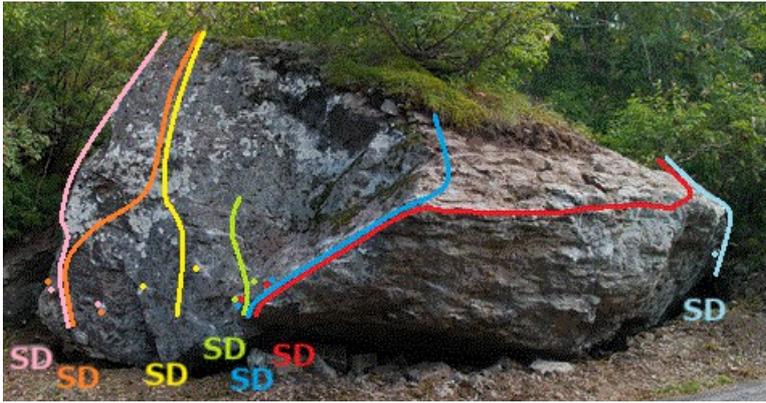
赤ラインのスタート右手は、小さなフレイク状ホールドで今後欠ける可能性あり。

北東側は、傾斜の無いフェイスで2本の易しいラインがある。

この岩は山と道路との凹状部にあり湿気が溜まるのか、晴れていてもホールドが滑るような感じがする。

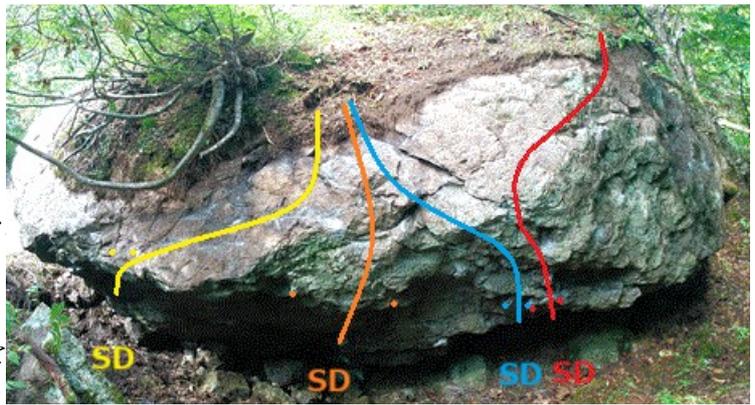


●B岩 (トポ上左:道路側 上右:北東側 下:南側)



このエリアで一番大きな岩。高いところは道路側のフェイスで4m弱あるが上部は易しい。

道路側は赤ライン(課題名:サウンド・オブ・フリーダム)が長く面白いが、核心はスタートから右上しカンテを取るまでであとは易しくリップ上のガバを右端までトラヴァースしていく。黄色ラインは、左手小カチ右手丸っこいホールドで身体を上げ右手をガバにとぼす。この岩の右の



ハング部分には良いホールドがないが、中央辺りに登れそうな未解決の課題が1本ある。

北東側の青ラインは、ホールドが大きく見えるがスローパー気味で登り難い。

南側は、ガバの左端辺りからスタートする赤と青の課題が2本あり、使うホールドが微妙に違うが、どちらもホールドは豊富である。オレンジラインは、左手ピンチ、右手小カチで身体を上げてリップ付近のホールドにデッドする。

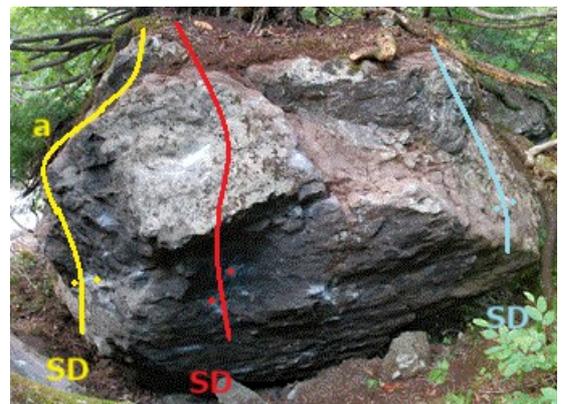
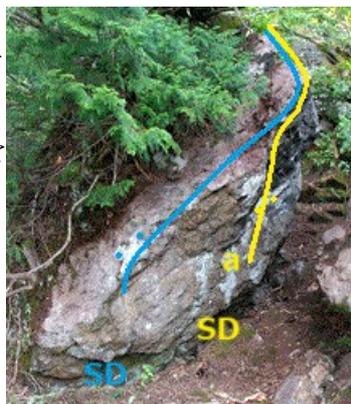
●C岩

(トポ上左:道路側 上右:南側 下:北側)

道路側の青ラインはガバを右上するラインで易しい。

南側はカンテを挟んで左右のフェイスに分かれる。

赤ラインは左右フレーク状のホールドでスタートしハングを越える。



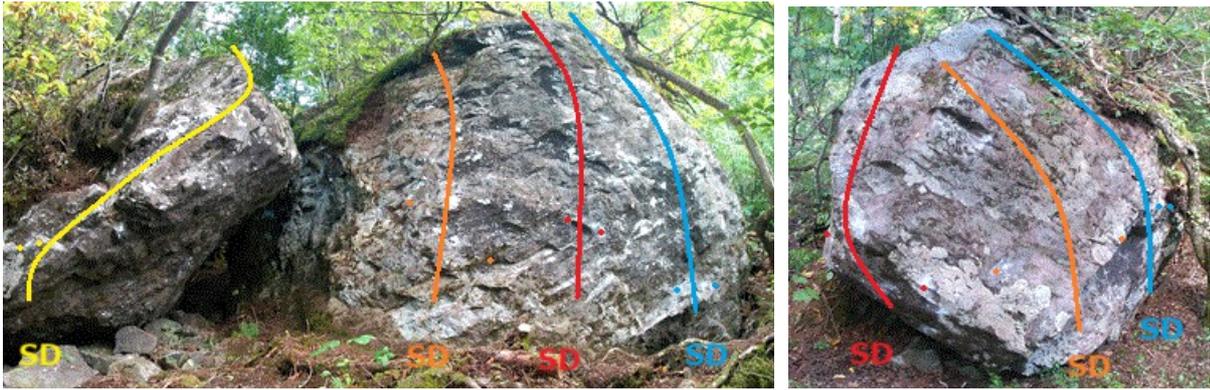
今回力不足で、左フェイスの黄色ラインのスタートホールドから右へカンテに出るラインと右フェイスのカチホールドから上のガバを取るラインは未解決となってしまった。

北側はリップトラヴァースの1本のみで、スタートはガバの少し下のスローパー気味のホールドと小カチホールド。最後は木を掴んで上がる。

向かって左端に未解決のSD課題が1本ある。



●D岩(トポ左の右の岩)&E岩(トポ左の左の岩)&F岩(トポ右)



D岩は丸い垂直のフェイスで3本課題がある。

赤ラインは、上部のガバの縦ホールドを取る時の右手ホールドの持ち方がポイント。

青ラインは、低めのガバからスウィングで身体を振って遠い斜めのカチを取る。フットホールドの手前に動かない邪魔な石があり正対して取らざるを得ないので遠く身長差が影響する。

E岩は右上するガバを繋いで岩上へあがる易しい課題が1本のみで、ハング部分には使えるような良いホールドがない。

F岩はB岩の少し北側にある小さな岩で、易しい課題が3本ある。